

生活習慣病予防についてのアンケート結果

県では、生活習慣病を予防し、悪化を防ぐ仕組みを作ることによって、県民の健康づくりに取り組んでいます。

国民病といわれている、慢性腎臓病(まんせいじんぞうびょう)(CKD)や脳卒中、心不全という病気をご存じでしょうか。今回は、早期発見をするための体制づくりや啓発活動の参考とするため、病気の認知度等についてアンケート調査を実施しました。

★調査時期: 令和5年5月

★対象者: 県政モニター297人

★回答数: 275人 (回収率 92.6%)

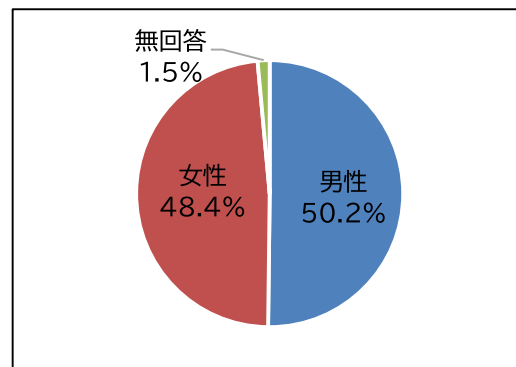
★担当課: 健康医療福祉部 健康寿命推進課

(※四捨五入により、割合の合計が 100.0%にならない場合があります。)

【属性】

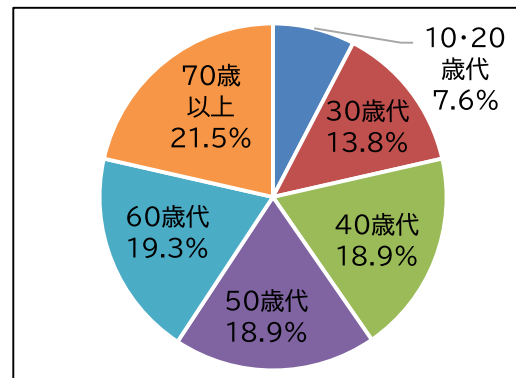
◆ 性別

| | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|-------|
| 男性 | 138 | 50.2 |
| 女性 | 133 | 48.4 |
| 無回答 | 4 | 1.5 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



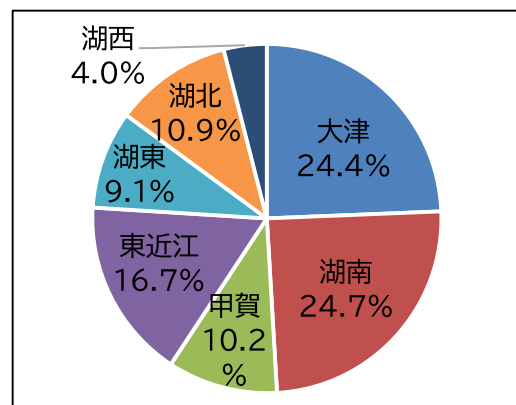
◆ 年代

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------|-------|-------|
| 10・20歳代 | 21 | 7.6 |
| 30歳代 | 38 | 13.8 |
| 40歳代 | 52 | 18.9 |
| 50歳代 | 52 | 18.9 |
| 60歳代 | 53 | 19.3 |
| 70歳以上 | 59 | 21.5 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



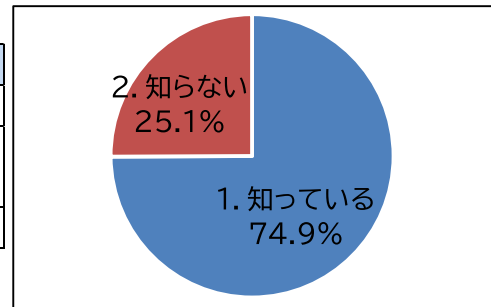
◆ 地域

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|-------|
| 大津地域 | 67 | 24.4 |
| 湖南地域 | 68 | 24.7 |
| 甲賀地域 | 28 | 10.2 |
| 東近江地域 | 46 | 16.7 |
| 湖東地域 | 25 | 9.1 |
| 湖北地域 | 30 | 10.9 |
| 湖西地域 | 11 | 4.0 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



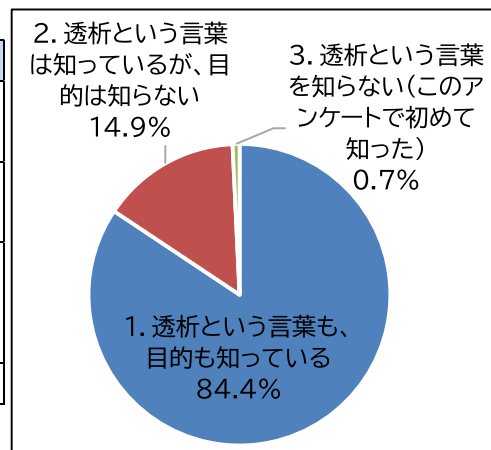
【問1】糖尿病や高血圧、高脂血症といった生活習慣病は、腎臓(じんぞう)の働きを低下させる危険因子となります。このように生活習慣病と腎臓の働きが関連していることを知っていますか。(回答チェック1つだけ)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------------|-------|-------|
| 1. 知っている | 206 | 74.9 |
| 2. 知らない(このアンケートで初めて知った) | 69 | 25.1 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



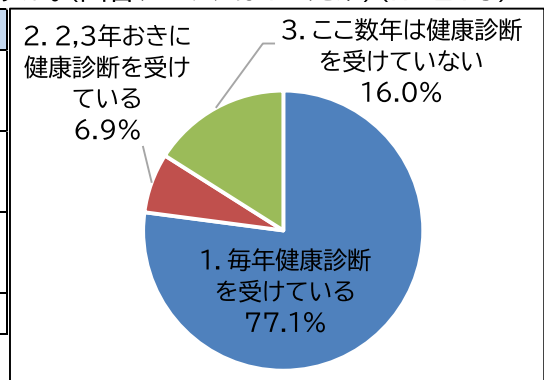
【問2】腎臓の働きが低下すると、透析療法(とうせきりょうほう)が必要になりますが、「透析」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------------------------------|-------|-------|
| 1. 透析という言葉も、目的も知っている | 232 | 84.4 |
| 2. 透析という言葉は知っているが、目的は知らない | 41 | 14.9 |
| 3. 透析という言葉を知らない(このアンケートで初めて知った) | 2 | 0.7 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



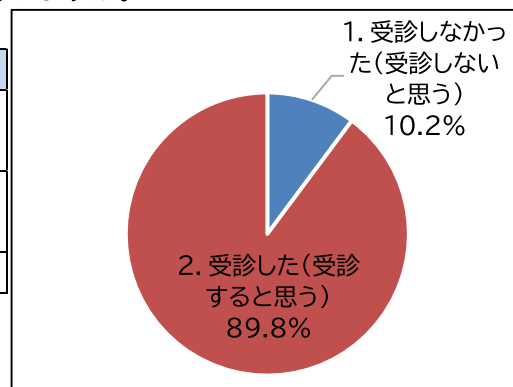
【問3】健康診断では、腎臓の働きを確認するために、尿や血液の検査などを行っています。毎年職場や市町、医療機関などで健康診断を受けていますか。(回答チェックは1つだけ)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------------|-------|-------|
| 1. 毎年健康診断を受けている | 212 | 77.1 |
| 2. 2, 3年おきに健康診断を受けている | 19 | 6.9 |
| 3. ここ数年は健康診断を受けていない | 44 | 16.0 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



【問4】健康診断の結果、尿検査や血液検査で異常があったとき、医療機関を受診しましたか。または異常があったと仮定した場合、医療機関を受診しようと思いませんか。(回答チェックは1つだけ)(n=275)

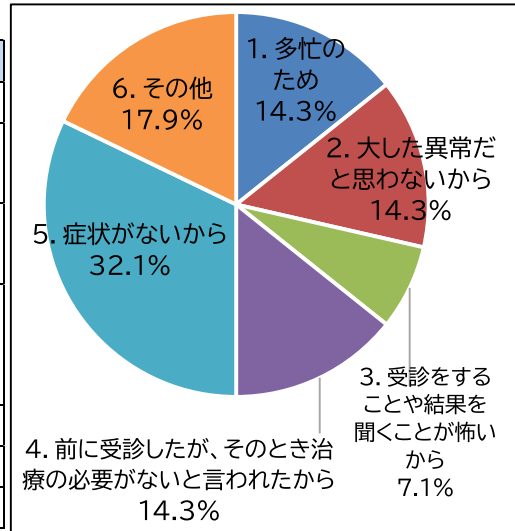
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------------|-------|-------|
| 1. 受診しなかった(受診しないと思う) | 28 | 10.2 |
| 2. 受診した(受診すると思う) | 247 | 89.8 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



【問5】問4で「1. 受診しなかった(受診しないと思う)」と回答された方におたずねします。医療機関を受診しなかった(受診しないと思う)理由を教えてください。

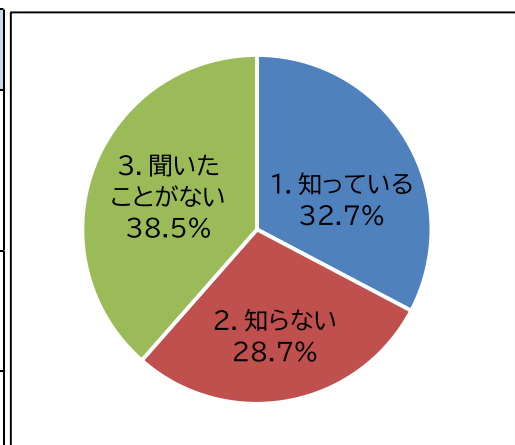
(回答チェックは1つだけ)(n=28)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------------------|-------|-------|
| 1. 多忙のため | 4 | 14.3 |
| 2. 大した異常だと思わないから | 4 | 14.3 |
| 3. 受診をすることや結果を聞くことが怖いから | 2 | 7.1 |
| 4. 前に受診したが、そのとき治療の必要がないと言われたから | 4 | 14.3 |
| 5. 症状がないから | 9 | 32.1 |
| 6. その他 | 5 | 17.9 |
| 合計 | 28 | 100.0 |



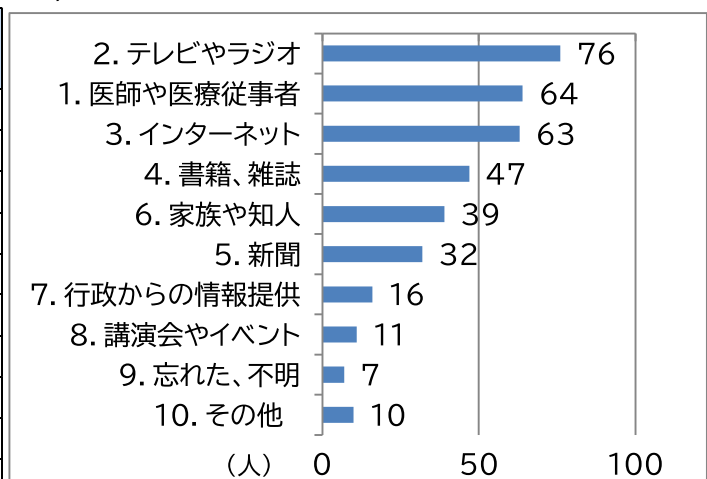
【問6】慢性腎臓病(まんせいじんぞうびょう)(CKD)は、自覚症状がほとんどなく、腎臓の働きが低下する病気です。これは、成人の8人に1人が該当します。この慢性腎臓病(CKD)という病気を知っていますか。(回答チェックは1つだけ)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--|-------|-------|
| 1. 慢性腎臓病(CKD)という病名を聞いたことがあり、どんな病気かも知っている | 90 | 32.7 |
| 2. 慢性腎臓病(CKD)という病名を聞いたことはあるが、どんな病気か知らない | 79 | 28.7 |
| 3. 慢性腎臓病(CKD)という病名を聞いたことがない | 106 | 38.5 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



【問7】問6で「1. 聞いたことがあり、どんな病気かも知っている」「2. 聞いたことはあるが、どんな病気か知らない」と回答された方におたずねします。慢性腎臓病(CKD)を知ったのは、どのような方法ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=169)

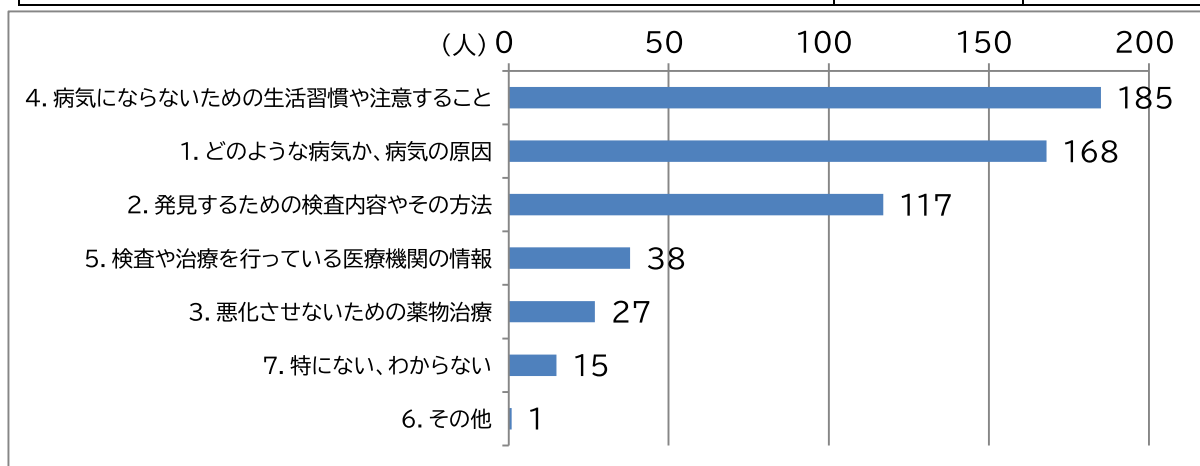
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1. 医師や医療従事者 | 64 | 37.9 |
| 2. テレビやラジオ | 76 | 45.0 |
| 3. インターネット | 63 | 37.3 |
| 4. 書籍、雑誌 | 47 | 27.8 |
| 5. 新聞 | 32 | 18.9 |
| 6. 家族や知人 | 39 | 23.1 |
| 7. 行政からの情報提供 | 16 | 9.5 |
| 8. 講演会やイベント | 11 | 6.5 |
| 9. 忘れた、不明 | 7 | 4.1 |
| 10. その他 | 10 | 5.9 |



【問8】慢性腎臓病(CKD)について今後、どのようなことが知りたいですか。

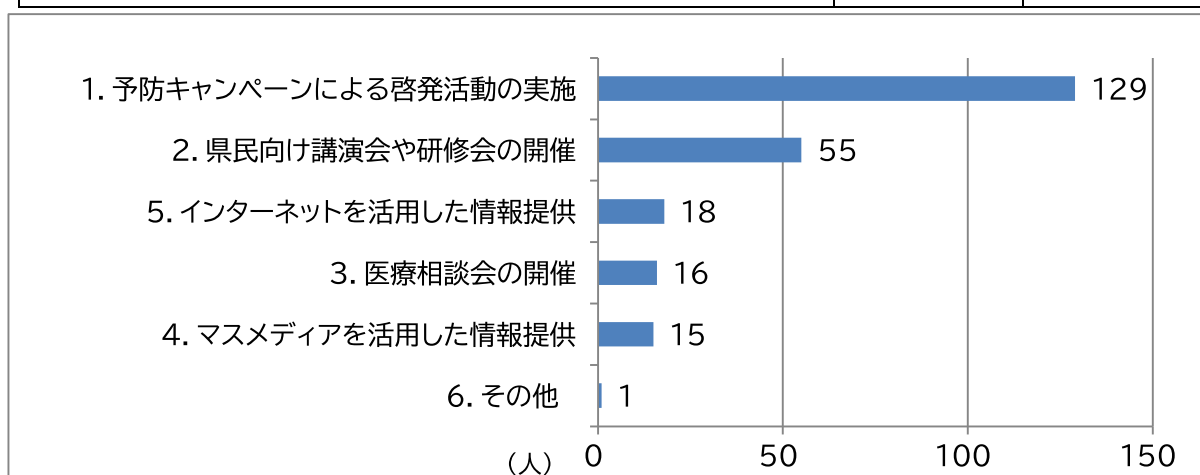
(回答チェックは3つまで)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|------------------------|-------|-------|
| 1. どのような病気か、病気の原因 | 168 | 61.1 |
| 2. 発見するための検査内容やその方法 | 117 | 42.5 |
| 3. 悪化させないための薬物療法 | 27 | 9.8 |
| 4. 病気になるための生活習慣や注意すること | 185 | 67.3 |
| 5. 検査や治療を行っている医療機関の情報 | 38 | 13.8 |
| 6. その他 | 1 | 0.4 |
| 7. 特にない、わからない | 15 | 5.5 |



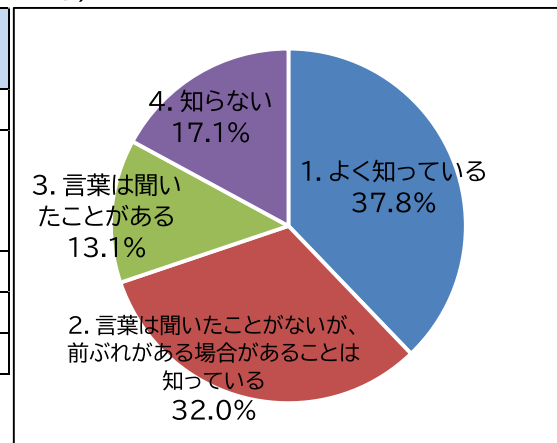
【問9】慢性腎臓病(CKD)の早期発見や普及啓発について、今後どのような取組が必要だと思いますか。(回答チェックは3つまで)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------------|-------|-------|
| 1. 予防キャンペーンによる啓発活動の実施 | 129 | 46.9 |
| 2. 県民向け講演会や研修会の開催 | 55 | 20.0 |
| 3. 医療相談会の開催 | 16 | 5.8 |
| 4. マスメディアを活用した情報提供 | 15 | 5.5 |
| 5. インターネットを活用した情報提供 | 18 | 6.5 |
| 6. その他 | 1 | 0.4 |



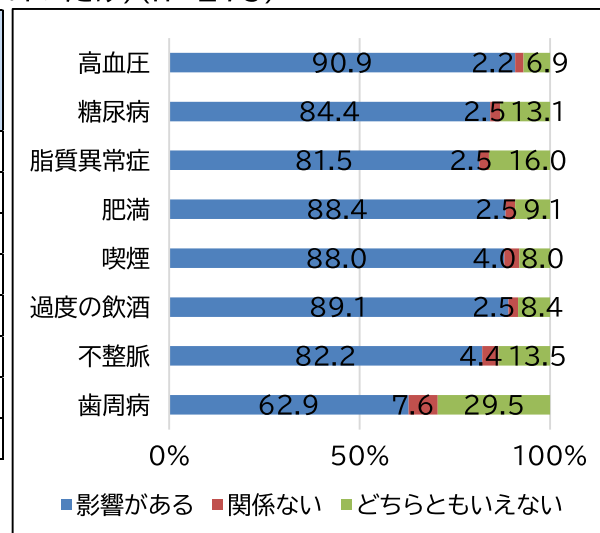
【問10】脳卒中(脳梗塞や脳出血)には、突然にロレツが回らなくなる、言葉が出ない、物が二重に見えるなどの症状が数分から一週間で消えるという前ぶれ「一過性脳虚血発作」があることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------------------------------------|-------|-------|
| 1. よく知っている | 104 | 37.8 |
| 2. 言葉は聞いたことがないが、前ぶれがある場合があることは知っている | 88 | 32.0 |
| 3. 言葉は聞いたことがある | 36 | 13.1 |
| 4. 知らない | 47 | 17.1 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



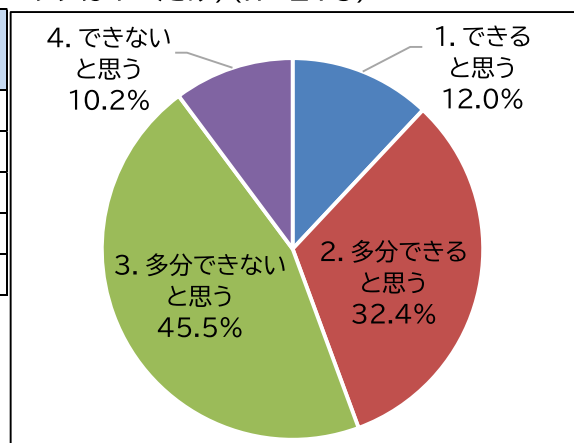
【問11】脳卒中や心筋梗塞の危険因子を知っていますか。知っているものについて当てはまるものを選んでください。(回答チェックはそれぞれ1つだけ)(n=275)

| 項目 | 影響がある | 関係ない | どちらともいえない |
|----------|-------|------|-----------|
| (ア)高血圧 | 250 | 6 | 19 |
| (イ)糖尿病 | 232 | 7 | 36 |
| (ウ)脂質異常症 | 224 | 7 | 44 |
| (エ)肥満 | 243 | 7 | 25 |
| (オ)喫煙 | 242 | 11 | 22 |
| (カ)過度の飲酒 | 245 | 7 | 23 |
| (キ)不整脈 | 226 | 12 | 37 |
| (ク)歯周病 | 173 | 21 | 81 |



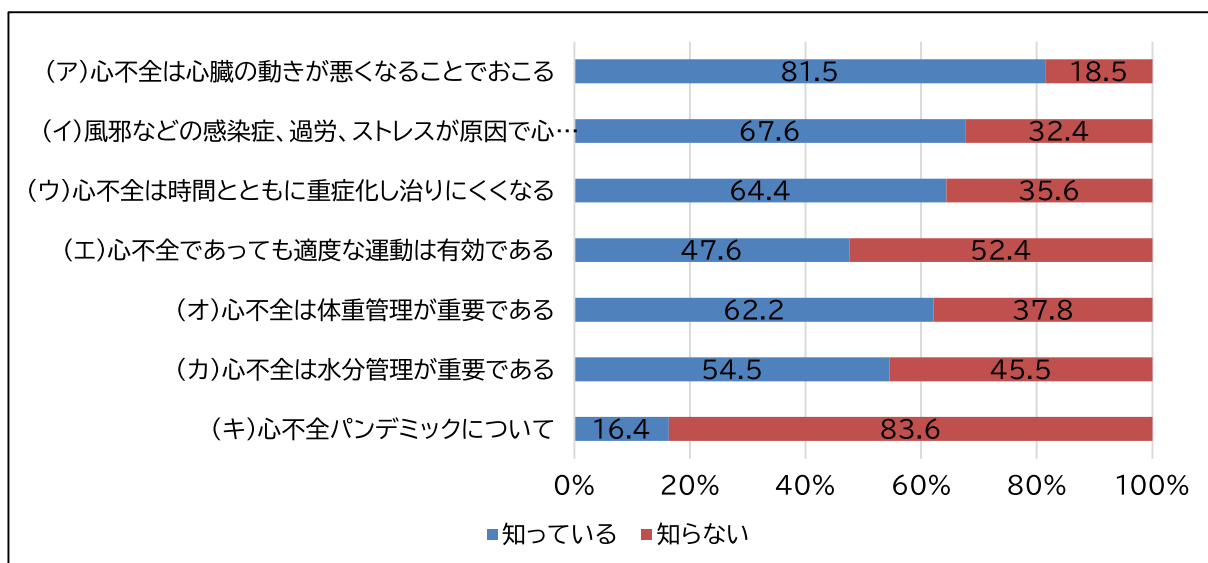
【問12】あなたは、目の前で人が倒れてしまったとき、心肺蘇生(そせい)(胸骨圧迫と人工呼吸)といった応急手当が出来ると思いますか。(回答チェックは1つだけ)(n=275)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|-------|
| 1. できると思う | 33 | 12.0 |
| 2. 多分できると思う | 89 | 32.4 |
| 3. 多分できないと思う | 125 | 45.5 |
| 4. できないと思う | 28 | 10.2 |
| 合計 | 275 | 100.0 |



【問13】心不全について、知っていることについて当てはまるものを選んでください。
 (回答チェックはそれぞれ1つだけ)(n=275)

| 項目 | 知っている | 知らない |
|-------------------------------------|-------|------|
| (ア)心不全は心臓の動きが悪くなることでおこる | 224 | 51 |
| (イ)風邪などの感染症、過労、ストレスが原因で心不全が起こることがある | 186 | 89 |
| (ウ)心不全は時間とともに重症化し治りにくくなる | 177 | 98 |
| (エ)心不全であっても適度な運動は有効である | 131 | 144 |
| (オ)心不全は体重管理が重要である | 171 | 104 |
| (カ)心不全は水分管理が重要である | 150 | 125 |
| (キ)心不全パンデミックについて | 45 | 230 |



【問14】その他、慢性腎臓病(CKD)、脳卒中、心臓病などの生活習慣病対策について御意見がありましたらお聞かせください。(自由記載)(一部抜粋)

- ・日頃から規則正しい日常生活に心がける。
- ・注意すべき前兆について具体的にあげて啓発してほしい。
- ・生活習慣病などへの関心が若年層では非常に低いと感じている。
- ・子どものうちからしっかり学んで、健康に対する知識と意識を持つべきだと思う。
- ・日常生活における食事、運動、仕事の仕方など、予防できること、また、やってはいけないことを、わかりやすく解説した情報を年齢に関わらず、発信していくことも必要ではないか。
- ・今元気な人に目につく方法で生活習慣病について周知すべき。
- ・具体的な検査方法も含めて啓発してほしい。
- ・気軽に医療機関で検査を受けられるようにしてほしい。
- ・年に一度の健康診断をかかりつけ医院でも受けられる体制が欲しい。
- ・健康診断を積極的に受診して自分の体をよく知る。
- ・健康なうちから県民が参加できるイベントや市民公開講座などの案内が欲しい。
- ・TV等のメディアや広報誌でもっと注意喚起するような試みが必要かもしれない。